

地域の
“つながり”
これからも

ボランティアの力で地域に活力！

新型コロナウイルス感染症の拡大によって制限されていた地域活動が活気を取り戻し、令和4年度は”withコロナ”でのボランティアが定着しました。今月号は、今年度年間を通して掲載したボランティア活動の主な取り組みをご紹介します。

対面によるボランティア活動が再開

地域見守り協力員事業では、感染対策を行いながら対面による声かけをする活動とし、久しぶりの再会を喜ぶ顔で溢れました。民生委員・児童委員など地域の方々から見守りが必要そうな方を社協へ相談いただくなど、地域の皆さんと協力して見守りを行っています。



地域見守り協力員事業

地域見守り協力員が、月2回程度訪問し、玄関先での声かけを通じて高齢者の生活を見守っています。



ちょこっと・暮らしのサポート事業では令和2年度以降に活動件数が減少しましたが、今年度からは徐々に増えています。活動内容も多岐にわたり、オンライン環境やIT機器の支援をする活動など、ボランティアの特技や経験を活かした活動が多くなりました。

◀スマートフォンの使い方をサポート



ちょこっと暮らしのサポート事業

日常生活の困りごとを抱える方を、地域のボランティアがお手伝いする、住民同士のささえあい活動です。



待ちに待ったサロンでの交流

ふれあい・いきいきサロンは令和5年1月末現在で今年度新たに3か所のサロンが誕生しました。また、サロン運営者の熱意と工夫によって、登録されている79か所のサロンのうち約6割の拠点が再開しており、参加人数は昨年より大幅に増えました。



ふれあい・いきいきサロン事業

地域の皆さんが運営する、気軽に行ける身近な居場所づくりの活動です。交流を通じて支えあいの輪を広げています。



社協のホームページでは新宿区内の子ども食堂等に関する情報を発信しています。



“お互いさま”の関係づくりに向けて

新宿区ファミリー・サポート・センターでは、事前の顔合せに当センターのアドバイザーが必要時に立会い、安心して会員同士が利用・活動できるよう信頼関係を育むお手伝いをしています。また、提供会員はステップアップ研修での学びを活かして、多様な依頼内容に応じた細やかな支援を行っています。



新宿区ファミリー・サポート・センター

子育ての支援を受けたい方と、援助を行いたい方の相互援助活動によって地域の子育て支援を行っています。



新宿社協では、活気を取り戻してきた地域の「つながり」を引き続きサポートしていきます。上記以外にも福祉施設での活動など様々なボランティア活動があります。ボランティアに関するご相談は裏面の各窓口でお受けします。